

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 20 年 12 月 18 日 (2008.12.18)

【公開番号】特開 2007-129601 (P2007-129601A)

【公開日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【年通号数】公開・登録公報 2007-019

【出願番号】特願 2005-321682 (P2005-321682)

【国際特許分類】

H 0 3 K 19/0175 (2006.01)

H 0 1 L 21/822 (2006.01)

H 0 1 L 27/04 (2006.01)

【F I】

H 0 3 K 19/00 1 0 1 F

H 0 3 K 19/00 1 0 1 N

H 0 1 L 27/04 H

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 11 月 5 日 (2008.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内部回路からの複数の信号を同期的に出力する複数の回路ブロックと、前記複数の回路ブロックにそれぞれ位相の異なるクロック信号を供給することで、各回路ブロックの出力タイミングを分散させるクロック回路と、各回路ブロックの出力側に配設された出力バッファと、を有し、前記出力バッファのうち、出力タイミングが遅い回路ブロックの出力バッファの駆動能力は、出力タイミングが早い回路ブロックの出力バッファの駆動能力より大きいことを特徴とする同期回路システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

上記の目的を達成するため、本発明の同期回路システムは、内部回路からの複数の信号を同期的に出力する複数の回路ブロックと、前記複数の回路ブロックにそれぞれ位相の異なるクロック信号を供給することで、各回路ブロックの出力タイミングを分散させるクロック回路と、各回路ブロックの出力側に配設された出力バッファと、を有し、前記出力バッファのうち、出力タイミングが遅い回路ブロックの出力バッファの駆動能力は、出力タイミングが早い回路ブロックの出力バッファの駆動能力より大きいことを特徴とする。